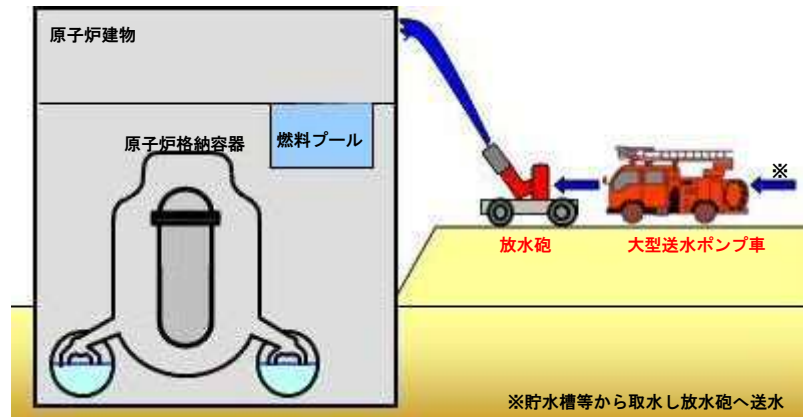


放水設備の設置

- 平成26年5月、万一、炉心が著しく損傷した場合等において、発電所外への放射性物質の拡散を抑制するため、放水砲および大型送水ポンプ車を配備しました。



放水砲



原子炉補機代替冷却手段の多様化

- 原子炉の冷却機能が喪失した場合でも熱の逃し場を確保し、機動的に代替冷却が行えるよう、移動式代替熱交換設備の準備を進めていますが、平成26年5月、移動式代替熱交換車への海水取水手段として、大型送水ポンプ車を配備しました。



大型送水ポンプ車

免震重要棟の設置

大規模地震等によって原子力発電所の事故が発生した場合の対応に、より万全を期すため、緊急時対策機能を有する免震構造の建物を発電所構内の高台（海拔50m）に設置します。

〔平成26年度上期完了予定〕



免震重要棟工事の様子（建物東側）

- 免震重要棟への放射線の影響を低減する対策として、遮へい機能を持ったコンクリート製の壁を建物周辺に設置する工事を進めています。



屋外壁と免震重要棟



免震重要棟工事の様子（建物西側）